

令和8年 3月31日

府中市議会

議長 佐藤 新悟 様

府中市議会 生活者ネットワーク
市議会議員 奥村 さち子

行政視察について（報告）

このことについて、次のとおり報告します。

1 日 時 2025年11月9日（日）

2 視察地及び視察事項

視察地： ・長野県高齢者生活協同組合（長野県佐久市）
・梨の木舎 布施谷 ガーデンカフェ（長野県佐久市）

視察事項： 地域福祉に関する協同労働と支え合いの取り組み

3 視察者 奥村さち子（生活者ネットワーク）

4 視察内容及び所感
別紙のとおり

「長野県高齢者生活協同組合・東信地域センター」

「福祉の協同組合」としての取り組みを視察した。小規模多機能型居宅介護の「四季のベンチ」、組合員による倶楽部・サロン活動、介護予防の「かがやき広場」、地産地消で 365 日高齢者の見守りと食を支えている配食の「米（まい）ちゃん弁当」の 4 つの事業を運営している。介護保険制度改正による課題と、人材不足の課題を抱える中でも、地域福祉の拠点として継続するために、サービス利用者である組合員と共に、地域に必要な「支え合いのしくみ」を模索し、協力して運営している。

団体の目的は、「不安定な介護保険制度の中でもお互いに助け合いながら、サービスやケアをやりとりできる場をつくっていくこと、孤立や不安がなくなるよう、生きがいや暮らしの張りをつくるための仲間づくり、高齢者でも安全に従事できる仕事、地域に必要な仕事を生み出すこと」人と人が「つながる」こと、関係性をつむぐことが、地域福祉の原点であると実感した視察となった。



梨の木舎 布施谷ガーデンカフェ

都内の出版社「梨の木舎」の舎主が開いた「梨の木舎ガーデンカフェ布施谷」は、戦死した叔父の家をカフェに改装し「居場所」として開いている。本棚には女性や人権に関する書籍を中心に揃えられ、カフェには居場所活動を通して繋がった地域の方々が集まる。それぞれに仕事や生活環境は違うが、「居場所」で人と繋がり語り合い、理解し合う場は、市民の暮らしを豊かにするものであり、さまざまな世代において必要な社会資源であると実感した。

佐久市議会で議員活動をしている方と、環境政策や高齢者政策についての意見交換も行ない有意義な視察となった。



所感：支え合いの「地域力」は共生社会の実現に向けて重要である。その「地域力」を活かすためには、行政の連携体制と行政・地域の対等な関係性が求められる。地域に必要な仕事づくりと孤立しない地域のしくみづくりが推進されるよう、自治体として多様な角度から支援できる制度づくりを政策提案していきたい。